

浸水3時間の恐怖、坂病院に搬入され救命される



小雪が舞う中、天真小に向かうスタッフのみなさん

3月16日午前、西淀病院医師鈴木正平、金蓮姫、東京民医連看護師古川純子、山城直子、事務清水則幸、小笠原長次、耳原総合病院医師瀬恒曜子、有馬優、三重民医連看護師落合聖子、近澤侑加さんは、天真小（避難者約1100人）を回りました。

インフルエンザの疑いのある人を隔離した教室では、丁寧な診察を受け明日には、家族と同じ部屋に戻ってよいという話を聞いて安心した方が何名かいました。

心停止状態から命を救っていただきました

教室を回っていて、坂病院のスタッフと分かったご婦人が駆け寄ってきました。多賀城市八幡4丁目にお住まいの■■■■■さん72歳。12日、自宅で地震による津波に見舞われ、浸水から3時間、津波は胸まで達し、必死で柱につかまっていた。意識は朦朧としていたということです。近所の人がボートで救出に来た人に知らせてくれ、救急車で坂病院に搬入。心停止状態で、人工呼吸をして蘇生、一命をとりとめたということでした。バイタルも安定して、退院になりましたが家財は流され、お金も一円もなくなりました。浴衣とスリッパだけでしたが坂病院で衣類を頂き、避難所の天真小へ。一人暮らしで息子さんは茨城県に住んでいますが、茨城も地震で停電のため迎えにくることはできず、避難所にいればとりあえずは安心だからということでした。「坂病院の方にはどうしてもお礼をいいたくて」といろいろ話してくれました。



お礼を言いたくて■■■■■さん

事業所の状況

長町病院

地震の影響で、長町病院附属クリニックの建物及び一部道路は立入禁止になりました。水戸部秀利理事長は、災害対策本部で「クリニックでの診療はできないが、長町病院で地域の医療を守るために、職員が力を合わせて頑張っている」と報告されました。

震災に伴う緊急の医療連携を図るために、医療度の低い患者用に、5階のPT室にベッドを20床設けて、半分は坂病院から受け入れ、半分は長町病院に入院中の患者から受け入れることを確認しています。壊れた建物の修理などと共に、避難所になっている長町小学校にポータブルトイレ2個を届けました。

泉病院



地震により入院患者さんに協力を求める

3月16日、外来は3診で約130人、入院は満床。人工呼吸器の患者さんは退院させることはできず。電気はOK、水道はまだ復旧しない。ボイラーが壊れ暖房がとれない。ガンリン欠乏で職員の通勤は相乗りなどで工夫。



建物本体が大きな被害を受けた長町附属クリニック

中新田民主医院

患者さん、建物に大きな被害はなし。水道管破裂2カ所、天井板は少しはがれた。カルテラック倒壊、現在停電中。院長はじめ職員で、後片付けに追われていましたが、ほぼ落ち着いた。

朝ズバの生放送をみて

昨日放送されたみのもんたの「朝ズバ」をみて、高橋クリニックから酸素ボンベ2本、また重油を提供したいという申し入れがありました。県の医師会からは、インフルエンザ検査キット100人分が届けられました。

全国支援 3月16日午後5時現在 26県連から270人